

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
新南陽駅周辺地区

平成29年1月

山口県周南市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	学び・交流プラザの利用者数	人/年	317,234	320,000	328,308	確定 見込み ●	○	あり なし	342,400	H28年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	学び・交流プラザが完成し、講演会やイベントの開催や市内外からの利用者が増加し、交流促進が図られた。
指標2	学び・交流プラザの定期利用団体数	団体	126	135	133	確定 見込み ●	△	あり ● なし	142	H28年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たな団体がコミュニティ活動・交流の場を求め利用するようになったため団体数が増加した。
指標3	歩行者交通量	人/日	492	500	519	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	複合施設の完成と土地区画整理事業の整備等が相互に作用し、歩行者通行量が増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	多世代交流の推進	学び・交流プラザにおいて、ボーイスカウト・ガールスカウトの世界的なイベントである「世界スカウトジャンボリー」の地域プログラムの実施をはじめ、様々な交流を図るイベントの会場として利用された。	複合施設のメリットである様々な学習者・来館者が自分の興味・関心事以外にも目が触れることが多くなり、利用者が増えている。	学習者のニーズだけでなく、社会の要望も踏まえたソフト事業も実施していく。
	駅、商業施設、公共施設、歴史・文化施設との連携	学び・交流プラザでは、商工会議所との共催事業である市の物産展や市の歴史・産業を学ぶ「歴史博士検定」等の会場として利用された。	文化財等を散策する「歴史探訪」のスタート地点として、またイベントの主会場になることで、周辺の商業施設や文化財等への関心につながっている。	学び・交流プラザ周辺で開催されるイベントへのコラボを検討し、地区の活性化につなげていく。
	路上駐車対策	平成27年度に東駐車場を整備したが、大規模なイベント時には、代替駐車場の確保を主催者側にお願いした。	東駐車場が完成し、路上駐車は減少につながっている。	施設を安心・安全に利用してもらうために、路上駐車は減少に努めるため、利用者への啓発活動を行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	学び・交流プラザから発信した事業や既存のイベントとのコラボなどを計画し、更なる回遊性を図ることが必要	物産展、歴史博士検定が実施された。	物産展では2日間のイベントで市内外からたくさんの方が訪れ、まちの賑わいにつながった。歴史博士検定では、文化財等への散策につながった。	駅周辺の賑わいにつながる主催事業や他事業とのコラボを計画していく。
	依然として、施設周辺での路上駐車は無くならず、保育園、公園など子どもの往来が多いため対策が必要	施設周辺の交通事情について関係課と信号機の設置などを協議した。	平成28年度中には信号機が設置され、路上駐車は減少が想定される。	駐停車禁止区間でない道路に対する迷惑駐車への啓発
	駐車場の渋滞	参加者が多く見こまれる場合のイベントや大会については、周辺の公共施設を代替駐車場として利用させてもらうなど、駐車場の確保を主催者側に要請した。	東駐車場が完成し、多少は緩和された。	引き続き、参加者が多く見こまれる場合のイベントや大会については、周辺の公共施設を代替駐車場として利用させてもらうなど、駐車場の確保を主催者側に要請していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項